

第 32 回 高円寺地域における新しい学校づくり懇談会会議録（要旨）

会 議 名	第 32 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会
日 時	平成 31 年 3 月 25 日（月）午後 4 時 30 分～ 5 時 50 分
場 所	高円寺中央会議室
出 席 者	懇談会委員 23 名（欠席 5 名）
傍 聴 者	0 名
次 第	1 平成 30 年度 3 校の交流のまとめ 2 通学路について 3 標準服について 4 その他
資 料	資料 1 新しい通学路の指定について 資料 2-1 通学路検討部会検討の報告について 資料 2-2 通学路検証結果地図 資料 2-3 通学路検証結果 資料 2-4 三建への歩道橋改修要望 資料 2-5 B 地区からの通学経路

会長	<p>皆さん、こんにちは。年度末のお忙しいところ、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。まだおいでになっていない方もいらっしゃいますが、時間になりましたので第 32 回高円寺地域における新しい学校づくり懇談会を開催いたします。</p> <p>3 名の委員から欠席の連絡を受けております。では、配付資料の確認をいたします。</p> <p>（配付資料確認）</p> <p>それでは、次第に沿って進めてまいります。</p> <p>次第 1 の今年度 3 校の交流のまとめにつきまして、杉並第四小学校、高橋校長先生より発表していただければと思います。よろしくお願いいたします。</p>
高橋委員	<p>スライドをご覧ください。今年度の振り返りということで、ご報告したいと思います。</p> <p>まず、今年度の取組ですが、4 月 4 日の 1 回目の合同研修会において、顔合</p>

わせを行い、メンバーや組織の確認、今後の日程について検討しました。4月18日の2回目で済美教育センターの高槻先生より授業改善についてお話をいただきました。

そして、学力向上を目標に掲げた研究授業を7月に行いました。また、8月に3校合同の学力向上研修会を行っています。

新校に向けてということで動いていますが、研究の主題は、「かかわりをつながりの中で育つ高円寺の仲間」ということです。主体的・対話的な学びを通して思考力・表現を育む指導方法ということで、算数・数学を中心に、この3年間やってきています。

研究推進委員会は、今年は8回杉八小を会場として行いました。合同研修会は10回行い、研究授業は7月4日に高円寺中で行いました。これは研究授業のときの写真です。合同研修会は、いつも高円寺中の部屋をお借りしてやっています。

杉八小で行った研究推進委員会は、管理職のほか教務主任・生活指導主任・特活主任ということで、3校の主だった先生方に集ってもらって今後の方向性を確認し、進めるということでやってきました。

これが、高槻先生にご講演いただいた合同研修会です。主体的・対話的ということで、隣の人と話し合ってくださいという指示のもと、話し合いをしているところです。

7月の研究授業では、高円寺中での数学ということで、守屋先生が研究授業を引き受けてくださいました。合同研修会では3校の職員が分科会をした後に全体会議を行い、それぞれの分科会でどんな話があったかということ報告します。これは高円寺中の先生がお話をしています。これは杉八小の先生が話をしています。これは杉四小の教員です。こういう形で3校で授業に向けての検討を行いました。

8月の終わりには、済美教育センターの山口先生という主に教育にまつわるいろいろな分析をされている先生に来ていただいて、3校の学力がどうなっているかということについて、いろいろとご意見をいただきました。

杉並区内で学力の高いところ、低いところときれいにマップになって出ますが、高円寺地域は残念なことに押しなべて学力の低いほうです。しかし、種々の調査で高円寺が断トツにいいところがあります。それはボランティアであるとか、そういうところが熱心であるということです。だから、山口先生も単純に学力を問うのではなく、高円寺ならではの良いところを追求していただくというお話をいただきました。

昨年の小中一貫と小小連携について、少し簡単にお話をします。

杉四小の5・6年生は、毎年、高円寺中で授業を受けています。それを小中一貫と呼んでいるのですが、今年度は5月25日からスタートして、年間11回高円寺中で学習しました。これがそのときの対面式です。小学生を前に、高円寺中学校の先生方が自己紹介をしているところです。

5年生は初めての高円寺中での学習になりました。その後、副校長先生から校内を案内していただきました。

5月19日、杉八小の運動会です。高円寺中の生徒が参加して、一緒に阿波踊りを踊っています。

続いて6月2日、これは高円寺中の運動会です。今は校庭がないので、杉四小の校庭で運動会をやっています。低学年は「ジャンプでキャッチ」という競技に参加しています。中3と3・4年生の綱引き。高学年は5・6年でチームを組んでリレーということで、今年度も杉八小の先生方にも来ていただいて、PTA競技と一緒に参加しました。

今年も3校合同の職員チームが走りました。私も走らせていただきました。骨を折った直後だったので、ある先生が「明日走るんですか」と聞いてきたので、僕の体のことを心配してくれてるんだなと思いながら「走るよ」と言ったら、「ああよかった。私は走らなくていいんですね」と言われました。私の体のことを心配してくれていたわけではないのです。(笑)

さて、中学校の先生方が小学校へ来て授業を行う取組を、今年もかなりの回数行っています。これは、杉八小で社会科の授業を高円寺中の先生がやっているところです。これは体育です。これは理科です。それから算数は、少人数の中に中学校の先生が入って、指導していただいています。これは英語です。ということで、かなり複数教科にわたって中学校の先生方に入っただけのようになってきました。

6月に杉四小・杉八小合同で富士学園に行っまいりました。合同ということ意識し始めてからもう4年目になりますので、その辺はかなり慣れてきたかなと思います。宿舎での食事もちろん一緒ですし、朝の会も合同で行っています。開園式・閉園式も合同で行っています。

今年はいよいよ一緒になるのが近いということで、最後に合同集合写真を撮ろうということになり、杉四小は5年生、杉八小は5・6年生で撮りました。それぞれ、後ろに職員が写っています。

7月、夏休みに入ってすぐ高円寺中で「はぴはぴフェスティバル」が行われました。ここにも高円寺中の体育館に大勢の児童が集まって、取組を進めました。杉四小の「アトム会」というおやじの会も、このはぴはぴフェスティバルのときの土曜日学校に参加ということで、一緒に参加をしています。

8月は阿波踊りです。阿波踊りといえば杉八小は今年も清掃活動を行い、杉四小は鳴り物で「杉の子連」という子どもの連に参加しました。高円寺中の生徒はボランティアで参加しているという感じで、ニュースレターにも書きましたが、3校は阿波踊りにどこかしら絡んでいるので、今年も阿波踊りを中心にいろいろ活動しました。

10月2日、杉四小の運動会に高円寺中が参加しました。この日は、実は雨で延期になっていて平日開催でした。本来なら運動会に江戸っ子連さんとか連の皆さんが来ていただけるはずだったのですが、平日開催ということでそれがで

きなかったのです。

ところが中学生がはせ参じてくれました。実は無理だと言っていたのですが、この時間帯はちょうど高円寺中の体育の授業の時間に被っていたのです。いま高円寺中は、体育の授業を杉四小の校庭でやっているのです。運動会に来られるという話になって、一緒に阿波踊りを踊っていただきました。今年も高円寺中の生徒と運動会で一緒に阿波踊りを踊ることができて、大変よかったと思います。

部活動体験は12月に行いました。杉四小の校庭と高円寺中の体育館で行いました。テニスは杉八小の校庭を使っているのです。今年は、文化部も含めて同じ時間に杉四小、杉八小、高円寺中と3か所に分かれて部活動体験をしました。

また、毎年3つの街頭活動をやっています。1つ目は社会を明るくする運動。4月5日に行いました。このような感じで、小学生と中学生が一緒になって街頭活動に取り組みました。

2つ目は、放置自転車クリーンキャンペーン。10月22日に行いました。小学生、中学生が一緒に手を組んで活動しました。

3つ目は、歳末の助け合いです。12月10日に行いました。歳末の助け合いでも、このように中学生と小学生が一緒になって取り組みました。

10月22日、高円寺中のわくわくフェスティバルです。今年も、杉四小の5年生がお米をテーマに発表しました。杉八小は、阿波踊りの清掃活動の取組について今年も発表してくれました。それぞれの作品掲示も行っています。これは杉四小の作品です。こちらは杉八小の作品です。これはメインというか売りの1つなのですが、小学生と中学生の全員合唱ということで、前にいるのは小学校6年生たちです。後ろに中1から中3まで並んで歌を歌っています。

12月14日、これも毎年なのですが、杉四小の学校評議委員会に小中一貫の様子を見ていただくということで、小中一貫の日に学校評議委員会を当てています。これがそのとき高円寺中を訪問している様子です。中学校へ行って、中学校の先生が授業を教えている様子などを見ていただきました。

12月23日に高円寺ゆめ音楽祭がありました。これは高円寺中の吹奏楽部です。杉八小の琴クラブ、杉四小の天鼓隊、杉四小のブラスバンド、高円寺中の吹奏楽部。杉八小の音楽教室、ブラスバンド。杉四小、杉八小の音楽関係は全部出るということで、高円寺ゆめ音楽祭に今年も全員で参加してきました。

小小連携ですが、1月29日に3年生が高円寺かるたの交流ということで、今年も杉八小の3年生が杉四小に来て、お互いどんなことをやってきたかということの報告をしました。このような感じで子どもたちが発表しています。

2月19日に模擬選挙を行いました。この模擬選挙の取組も4年目になりました。杉四小・杉八小の5・6年生が模擬選挙をするということで、今年も杉八小の順番で、杉八小の体育館で模擬選挙を行いました。こんな感じで、実際に投票所で使っているものをそのままお借りして、選挙管理委員会事務局の皆様にも協力してもらい、模擬選挙をやっています。

高円寺地域は投票率があまり高くないということで、4年目の取組になりますが、あと2、3年して、その辺の効果がじわじわ表れてくれると嬉しいと思っています。

それから2月26日、杉四小、杉八小の合同報告会ということで、これは両校の4年生がキャリア教育・企業家教育で、同じ形で物を売るということをやっているの、それをお互いに報告し合おうではないかということで、これも4年前から始めました。今年は杉四小の体育館で行いました。

3月10日は杉四小の卒業を祝う会ということで、6年生の卒業を祝う会なのですが、今年も高円寺中の橋本校長、山口副校長に来ていただきました。その後、高円寺中の卒業式ということで、ここには杉四小、杉八小の校長が参加しています。

こんな形で1年間駆け足で見てまいりましたが、成果としては今年もニュースレターを3号発行し、小中一貫について発信できたかなと思います。それから、学力向上を目標に3校が協力して実践を進められた。そして、新校の教育計画がほぼでき上がりました。新校の準備が着実にできたかなと思います。

それから小小連携もより深めることができました。これも、地域や保護者の皆様のご支援・ご協力のお陰で、3校とも充実した教育活動ができたかなと思います。ありがとうございました。

また、最後のニュースレターにも記載しましたが、3校のトランスボックスラッピングも完成しました。これについては学校支援本部、それから地域の皆様、商店街等のご協力、それから済美教育センターと教育委員会にいろいろご支援をいただいて作ることができました。

これは杉八小のトランスボックスです。これが高円寺中のトランスボックス、これが杉四小のトランスボックスです。あと1年ということで、3校のメモリアルの1つになったのではないかと考えています。

今後は、ずっと言ってきたことですが、子どもたちにとってよりよい学校をつくるということで、ここ数年やってきました。来年も、これを課題にしながら進めていきたいと思っています。

31年度は、学力向上プロジェクトで、区平均を上回るという目標を今年こそ達成したいと思っています。それからインクルーシブプロジェクトです。来年度に特別支援学級が新校にできるので、その開設準備を具体的に進めていきます。そのための教員の加配をつけていただきました。

それからコラボプロジェクトです。高円寺という街とさまざまな形でコラボしていくという取組を、また来年度も引き続き進めていきたいと思っています。

私たち教員からすると、新校が子どもたちにとってよい学校となるように、教育課程や教育内容や教育方法をよりよくしていくことは使命だと思っています。開校まで本当に残り1年ということで、さらに3校がスクラムを組んで、開校準備に取りかかっていたいと思っています。

簡単ではありますが、1年間を振り返りとしてご報告をさせていただきました。

	<p>ご清聴ありがとうございました。</p>
会長	<p>どうもありがとうございました。何かご質問等ございますか。よろしいですか。</p> <p>それでは、いよいよ開校1年前ということになります。今年度以上にまた取り組んでいきたいと思っています。</p> <p>杉四小との連携は継続ということで行いますし、2・3学期については新しい校舎が使えるので、小小連携でやっている行事はぜひこちらでやっていただいて、杉八小の子どもたちにもみんな来てもらったりして、さらに拡大していきたいと思っています。</p> <p>また、ニュースレターの話がございましたが、今、学校に配っていますが、未就学児のいる幼稚園であったり、保育園であったりというところにも中身を変えて配っていかうと計画中でございます。こんな学校ですよということをお知らせする1年間にできたらと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、次に次第2の新しい通学路についてでございます。</p> <p>前回、高円寺学園の通学区域についてご意見を頂戴しましたが、今回は通学路についてです。学務課長から説明していただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
学務課長	<p>学務課長の高山です。本日は、通学路についてということで、ご説明をさせていただきますと思います。</p> <p>配付資料の資料1、それから資料2-1から2-5までを使って説明をさせていただきますと思います。</p> <p>1月24日の第31回の懇談会のときに通学区域の区案を示しさせていただいて、皆様からの意見も最終的にいただいたところです。</p> <p>その後、2月22日に区議会の文教委員会がございました。こちらで皆様にお示しした内容を報告させていただきました。特段質疑等もなく、議会の報告はそのまま終わったという状況になっております。</p> <p>今日は、通学区域の指定の後、開校に向けて通学路の指定をきちんと行っていきたいというところで、今日はお時間をいただいたところです。まず資料1を見ていただきますと、この間、懇談会の中で話し合ってきた経緯が記載してありますので確認していただければと思います。</p> <p>以前、懇談会の中で通学路の検討部会を設けて実地調査を行いながら、平成28年7月から10月にかけて3回の部会を開催して検討した結果を翌年の1月に報告書にまとめました。</p> <p>それが、今日は資料2-1から2-5でお示ししています。</p> <p>この間、開校の延期もあり、少し時間があいています。その検討部会で作成した報告書から2年ぐらい経っていますので、当然2年経てばそのとき見た状況と変わってきていると思います。もう一度きちんとこの懇談会等を通して、過去に整理した内容等を確認していただき、どういった通学路を指定していく</p>

のがいいのかを、検討を進めていきたいと思います。

まず、資料2-1を見ていただきたいと思います。先ほど3回の検討部会をやったと申しましたが、第一回は平成28年7月22日で、通学路の状況だとか、仮に通学路を設定したらということで、実地調査の確認のポイント等を確認したところです。

9月30日に、実際に北コースと南コースに分かれて、杉並警察や土木事務所なども参加して実地調査を行いました。それを受けまして10月27日に実地調査を踏まえた内容等の結果報告、それを受けて通学路の案を作成していただきました。

資料2-2、2-3で、資料2-2のほうは検証結果の地図ということで、通学路のポイント等、通学路の指定と廃止、それから通学安全指導員が安全を確保するために現在立っているところの配置。それから今度、学校に行く方向が変わったりすることがありますから、廃止するところを確認しています。

あとは環七に歩道橋があって、歩道橋の安全確認ということで、歩道橋の柵の高さや、降りたところの場所が自転車の動線になっている関係があるので、そういったところの安全の確保をどうしたらいいかを問題提起して確認したところかと思っております。

あと横断歩道の関係で、通学安全指導員だとかを整理したものが資料2-2、具体的に検証結果というところです。資料2-3を見ていただくと、中央線高架下の交差点だとか、先ほど申し上げた歩道橋も高円寺の北、東、南と3つありますので、そちらのそれぞれの内容が載っています。

それから杉四小関係ですが、あずま通りは、行くときと帰るときに通学路を変えるということで、朝の時間帯はこちらを通過して、夕方時間帯はこちらを通過するという、時間帯に合わせた柔軟な運用も検討してきました。

以上のように内容はこちらに細かく書いています。今日は一つ一つご説明というよりは、事前に資料をお配りして見てきていただいておりますので、ポイントを確認していただいて、「少しこの辺は、通学路を指定するに当たって注意してもらいたい」だとか、「状況が変わっているところがあるので、この辺はどうなのか」というところがあるのであれば、まず皆さんからご意見をいただきたいと思っています。

資料には、実際に写真などを含めてそのときの状況が記載されてますが、私も高円寺中央地区町連にご説明に行った帰りに、実際に環七を通過して、歩道橋だとかの話があった箇所を見てきました。

歩道橋などについては第三建設事務所に話をしますが、どこまで調整ができるのかというのはあります。まず私が感じたのは、もう一度実地検証を踏まえ、しっかりと皆さんと内容を共有して、子どもたちの安全をしっかりと確保できる形をとっていく準備を進めていきたいと思っています。

スケジュールをこちらに書いていますが、まず今言ったように、実際の現場をもう一度確認しなければならないところがあるので、検証部会という形で検

	<p>討してきた内容を整理したいと思います。資料1の2枚目に検証部会委員候補者名簿があります。前回のメンバーを中心に、もう一回検証部会を立ち上げて、やっていきたいと考えています。名簿にあげさせていただいた方については事前に打診させていただいて、今日お諮りするということでお話をしています。</p> <p>資料1に戻っていただきまして、通学路の検証部会委員の選出を懇談会で決めて、ご了解いただきたいというのが今日一番の主眼でございます。4月上旬に、実地検証のための調整会議を開き、皆様との情報共有等を深めたいと思います。いきなり実際の現場に行くよりは、その内容についてメンバーで共有し、ポイントや必要などところの確認をしていただくために、年度初めに行いたいと思っています。</p> <p>実際に調整会議を済ませた後に検証部会を開催し、ここに書いてあるとおり警察、土木事務所、学校職員、教育委員会も含め、実地調査をしたいと思います。具体的に言うと先ほど申し上げた通学安全指導員の位置の確定や、第三建設事務所の所管する歩道橋の今の状況の確認、それからカーブミラーや交通標識といった細かいところも確認し、実際の検証を行っていただくことを4月中旬ぐらいにやりたいと思っています。</p> <p>それを踏まえて、5月中旬ぐらいに懇談会を開催して、検証部会の内容と皆様の意見をもう一度確認した上で、内容をある程度決定していく形で進めていきたいと思っています。</p> <p>通学区域の指定のときにも話しておりますが、6月は第2回区議会定例会で学校設置条例の改正を進めていきたいということで、時期を合わせて通学区域の規則改正も行います。あわせて、この通学路変更の申請をして、新通学路の決定を行っていく形をとっていければと思っています。</p> <p>それによって、9月の就学前健診などの事務に間に合わせるのがありますが、例えば新しい通学路に標識をつけるとなったときに、予算措置も必要になってきます。区の予算は9月、10月にかけて予算要求をしますので、9月ぐらいまでに内容を整理して、32年度の開校に向けた取組を進めていきたいと思っています。</p> <p>平成32年4月の開校前に準備しなければならないことは32年度予算ではなく31年度予算で対応していきたいと思っています。</p> <p>細かい説明は省略しましたが、こちらの内容を今日確認させていただいて、ご意見があればいただきたいと思います。時間も限られていますので、この辺がポイントだということがあれば今日示させていただいて、後は検証部会の委員に意見を伝えていただくなどして、検証部会でより充実した議論を深めていければと思っています。</p> <p>私からの説明は以上になります。</p>
会長	<p>ありがとうございました。今ご説明いただきましたが、ご質問等ございますか。何かご意見として、気づかれたことがあればこの場でお願いできると助かります。いかがですか。</p>

委員	歩道橋ですが、課長は高円寺北の歩道橋は渡ったことはありますか。
学務課長	あります。
委員	<p>非常に揺れるのです。児童が渡っているとき、例えばランニングしている人が走ってきただけでも非常に揺れる歩道橋で、実は東日本大震災以降にあそこを渡れない、揺れて不安だという児童もいたのは事実です。</p> <p>今後も揺れて怖いという児童も出てくると思いますので、そのときの対応を検討しておいていただきたいと思います。</p> <p>それから、この懇談会設置以前にありました準備会の中で、歩道橋の新設の話も出ていたと思います。特に、非常に難しいと思いますが、中央線と環七の交差するところでペDESTリアンデッキの設置という話題も出ていたと思います。そういったものも全て考慮した中で今回の通学路が設定されたということで理解してよろしいですか。</p>
学務課長	<p>北側の歩道橋は、私自身は揺れを感じなかったのですが、工事中であったりして、狭くてすれ違えないと感じました。なるべく子どもたちに不安を与えない対応策をとる必要があると思いますので、確認して対応していきたいと思います。</p> <p>新設のというのは私には分かりかねるのですが、ここに書いていることだけを議論して整理するつもりはありませんので、もう一度きちんと内容を精査した上で、皆様と検証に臨んでいきたいと思っています。</p>
委員	<p>要望なのですが、実行計画のほうでも書かれているように、杉四小の跡地を部活動等の補助という形での活用もあるかと思います。また、幼小・保小連携の活動もあり、高円寺学園と杉四小跡地との行き来は非常に多くなると思うのです。</p> <p>以前、土木計画課も含めて新設する高円寺学園の正門から対面に対する歩道橋の新設というのを第三建設事務所に依頼したことがあると思います。そこら辺についての可能性はいかがですか。</p>
教育施設計画係 推進担当係長	<p>過去そういった形でお話が出たのは私も聞いていますが、かなり難しいということを聞いております。</p> <p>もちろんあったほうが便利ですし安全ですが、東京都としても環七は震災時の輸送路という関係もあり、歩道橋の移設や新設は原則として行っていないと聞いています。</p>
委員	<p>今度の高円寺学園の校地は若干環七との接地面が増えたことでもありますので、できましたら再度その案を検討いただけないかと思います。</p> <p>特に、児童の歩道橋利用も増えた中で、いわゆる校地に歩道橋のたもとが設置できることも可能ではないかと思います。再度ご検討していただきたいと要望します。</p>
会長	ほかにはいかがですか。
委員	通学安全指導員の件ですが、これを見る限りでは赤丸は新たに設置ですか。

	<p>黒丸と赤丸の違いと、杉八小南側の2人が廃止になったと思いますが、その廃止の理由と、多分赤と黒で10人なのですが、10人で本当に足りるのかということをお聞きしたいと思います。</p>
学務課長	<p>この赤の丸で囲まれたところが、新たに通学安全指導員を設置するマークです。黒で書かれているところは既存のところ、杉八小の廃止する2か所についてはバツがついていると思います。こちらは需要というか、人の流れが北側に向いていくということがあって、必要な場所に振り分けられているのだと思いますが、詳細はわからないので申し訳ありません。</p> <p>ただ、予算が限られている中での配置ということもありますが、いま一度廃止した場所に本当に必要性がないのかを、もう一度検証していただいた上で、増設する必要があるということであれば、そういった対応も柔軟にしていく形をとっていければと思っております。</p>
委員	<p>通学路検証部会の委員候補についてですが、通学安全指導員リーダーということで杉八小から出ていますが、杉四小の通学安全指導員から委員にというのはなかったのでしょうか。</p>
学務課長	<p>この案をつくるときに、前回の検討部会のメンバーの出身母体をベースにつくらせていただいたというのがあります。</p> <p>今日お示ししたのは、案ですので、そういったご意見があればそれを含めて調整いたします。</p> <p>前回は杉四小、杉八小の通学安全指導員のリーダーというか、代表者みたいな形でメンバーを出した経緯があるので、今回はこの方に打診はしておりますが、例えば杉四小からリーダーをとることがあれば調整して、こちらのメンバーに加えることは可能だと思います。今日ここですぐにお返事はできないのですが、ご意見がありましたので打診させていただければと思います。</p>
委員	<p>資料2-2の電車の南の歩道橋のことですが、地図で見ると⑪⑫。これは生かして使うわけですね。⑬から上がってくるとなると、あそこは使うのかなと思って。渡った右側に大きな空き地があって、いずれ工事が始まるじゃないですか。そうするとどうなるのか。</p>
学務課長	<p>当時の内容の詳細を把握できていないところがありますが、この歩道橋を渡る、渡らないにしても、⑩の横断歩道の問題もあるので、南側から来るときにどういう形がいいのかというのは、もう一度きちんと整理させてもらえればと思っております。どれが一番子どもたちにとって安全が確保できるのかということで、考えたいと思います。</p>
委員	<p>今のご意見のことで言えば、2年という月日が経って空き地のところに今後は消防署が来る予定になっておりますので、そうすると緊急時に出入りがあるということもあるので、そこら辺を検討していただきたいです。</p> <p>4月に入ってから、検証で歩いていただけたと思いますが、そのときにできましたら、民間の方で通学路の安心安全面ですごく活躍されている清永先生（ステップ総合研究所所長である清永奈穂先生）という方がいらっしゃるの、ぜ</p>

	<p>ひその先生にも入っていただいて、防犯面などを一緒に検証していただければこちらも安心できます。</p> <p>それともう1つお願いとして、通学安全指導員の方を配置していただくに当たって、杉八小方面の通学路でやっている通学安全指導員は、新しい学校に行くとなると距離がすごく遠くなると思います。</p> <p>開校後、通学安全指導員の方は、最初に高円寺学園に集まって、そこからその日のミーティングをして、子どもたちの情報などを先生方から伺い、その後各所に配置され、最後また報告に戻ると思います。今までと同じ意識で入っていらっしゃると、感覚が遠すぎるとかいろいろあると思いますので、注意してもらいたい。それと新しい学校ということで、通学安全指導員の方たちもスキル、レベルを上げていただきたい。</p> <p>見ていただく範囲が広がるので、違う視点を持って指導員の方たちを配置していただければ保護者も安心だと思うので、ぜひその辺りをお願いしたいと思います。</p>
学務課長	<p>メンバーについては、杉四小の通学安全指導員を追加するかしないかもありますし、民間の方を参加させたいというお話もありました。、当人のご理解がいただけるかということもありますので、その辺は会長と相談させてもらって、最終的なメンバーは、決めたいと思います。</p> <p>あまり人数が多くなりすぎてもいけないと思いますが、今日伺った範囲についてはメンバーとして加わっていただく形で調整させていただければと思います。後日、こういう形で決まりましたということは、皆様に連絡させてもらえればと思います。</p> <p>あと、通学安全指導員は1回学校に行って戻るということで、学校の場所が変われば状況が変わってくるということがあるのは分かります。</p> <p>実際そういう状況になっても通学安全指導員を受けるか、受けられないか、何ができて、何ができないというところを、シルバー人材センターにきちんと伝えて、その辺の対応ができる方を選んでいただく形で調整していきたいと思います。</p>
委員	<p>私は前回、通学路検討部会に入って一緒に検討をしたのですが、前回この通学安全指導員リーダーの方は入っていませんでした。確か杉並区に関係した警察を退職された方で、子どもたちの交通安全を見てくださる方がいてその方に入っていただいていたと思います。通学安全指導員として杉四小、杉八小から1人ずつ出すという感じではありませんでした。前は警察OBという視点で見えていただいて、一緒に回ったと思うので、メンバーはもう1回検討していただけたらと思います。</p>
学務課長	<p>肩書は警察OBで通学安全指導員だった方が入っていたことも考えられます。今回、警察も実地調査などで同行してもらう予定ですので、警察の持っている能力はある程度担保されます。警察OBの方で、適任の方がいればお声がけしたいと思いますが、通学安全指導員の中でリーダー的な方であれば、地域</p>

	全体を見守っているということになると思いますので、そこは調整させていただけたらと思います。
委員	<p>こういう言い方をすると申し訳ないのですが、通学安全指導員の方たちにもう少し高い意識を持って、これから新しい学校の交通安全に取り組んでいただきたいというのが保護者の皆様の考えではすごくあります。杉四小、杉八小の通学安全指導員の方の意識が上がるように話を持って行っていただきたいというところがあるので、そこをわかっていただけるとありがたいと思います。</p>
学務課長	ご意向はよくわかりますので、調整させていただきます。
委員	<p>私の孫が小学校1年生で、高円寺学園に行こうか迷っています。この地図を見るとわかりにくくて、孫にも説明しようがないのです。</p> <p>もう少し目印になる、例えば氷川神社や中央公園が入っていれば、ここは通っては行けないなどと言えますが、この地図だけだと教えるのが難しいです。</p> <p>この⑪⑫の南の歩道橋は、もし工事が始まったら危なくて使えないわけです。そうすると信号を渡らなければいけないというのをちゃんと教えないといけない。多分1年生だとなかなか難しいです。だから、もうちょっと分かりやすい地図にしていただけると助かります。高円寺南二丁目からだとかなり遠いので、この通学路で行くと大変かなというのもあるので、そういうところも考えていただきたいと思います。</p>
学務課長	<p>地図情報は多分「すぎナビ」などを引用したもので、いろいろな情報を落としています。分かりやすい地図を発信することをしていきますので、どの施設を出したほうがいいのか今すぐは言えませんが、皆様にわかりやすいとか、子どもたちが見て自分の通学路がはっきり分かるものに工夫していきたいと思っています。通学路の路線図なども参考にしながら、皆様にお示しできる形がとれればと思います。</p>
委員	先ほども出ていました通学安全指導員の人数ですが、3名をこの地図上削って、新たに5名を配置していただいているということは、今まで杉四小、杉八小で8名だったところが10名になったという解釈でよろしいですか。
学務課長	<p>当時はそういう形で整理させていただいたということです。改めて検証する中で、必要な箇所に必要な人数を配置していければと思います。</p> <p>ただ正直言うと、シルバー人材センターもなかなか大変な状況であるので、そちらで補えなければ何かしら手段を考えるというのも、今後区としてもやっていかなければいけないと思っています。</p> <p>それは多分高円寺だけではなく、全体的に通学路の安全を確保するという意味で、そういったことを考えるきっかけにもなっていると思っています。</p>
委員	10名分の予算をつけていただいて大変ありがたいです。心強く思います。
委員	<p>通学区域に特例措置を設けていると思いますが、特例措置である以上は、その地域は高円寺学園の通学区域だと思います。そうした場合、例えば高円寺南五丁目地区など、検討する必要はないのでしょうか。</p>

学務課長	<p>通学路はあくまでも指定通学区域の中で、子どもたちが学校にどのような形で通うかというのを示してその指定をするというものですから、通学路という考え方で考えればこのようになります。ただ、特例措置で来る方は現在もいますから、その安全確保は個別案件で対応するべき問題なのかなと考えます。</p> <p>今は個々の保護者などに指定通学区域以外から通学することについて、ある程度責任のようなどころはお願いしている部分があります。人数が多くなったとか状況が変わってくると、何かしら考えていく必要があると思いますが、今はまだどうなるかが分からないので、原則は指定通学区域の中での動線の確認という形になっております。</p>
委員	<p>ということは特例措置で通学する方の住んでいる地域は、高円寺学園の指定通学区域はないということで理解してよろしいですね。</p> <p>特例で認めていても、指定通学区域とは違うので、あなたたちで安全を確保しなさいということになるわけですね。</p>
学務課長	<p>例えば杉三小の通学区域からであれば、北に向かう形になると思います。北と南で行く方向が違って、通学路を通ることによってある程度の安全確保がされているということになれば、そういうものを参考に子どもたちが北側の学校へ向かっていく案内をきちんとしていきたいと思います。杉三小の通学路を尊重しながら、そういった情報提供を今後していく必要があると思います。</p>
委員	<p>そうすると地図に載せる必要はないということですね。特例で認めている以上は一緒に載せたほうがそれなりの配慮になるのではないかと思います。</p>
学務課長	<p>区は、通学路の路線図をつくっていて、それには杉並区全域の通学路が出ています。今回の資料はその一部を捉えて資料として出しているのですが、全体的な通学路がどうなっているかは通学路の路線図でお示ししています。全体の地図を見ながら私がいま申し上げた杉三小の、例えば高円寺南五丁目のエリアの方たちがどういったルートで学校に向かっていった方がいいかは我々も情報提供することができます。しかし、あくまでも通学区域内の通学路という話になれば、ここで今お示ししている内容の議論になると思います。</p>
委員	<p>特例措置は32年4月以降も続くということでしょうか。</p>
学務課長	<p>この前の懇談会で皆さんにお示した内容で私どもは整理していきます。通学区域は杉四小、杉八小を合わせた区域。それから4つほどお示した特例措置の内容については、今後手続を進めていくということをご理解いただければと思います。</p>
委員	<p>しばらくは続くのでしょうか。</p>
学務課長	<p>32年以降、人の動きを3年間検証していきますので、特例措置を生かしながらの検証をしないと、検証結果が違ってきてしまうと思います。</p>
委員	<p>先程もお話しありましたが、杉三小学区から来るお子さんについてはある意味自己責任で、新しい学校の通学区域ではないから、気をつけて通ってくださいということでしょうか。</p>

	資料２－５を見ながらお話ししていますが、この資料で例えば、杉三小の通学安全指導員はどこに立っているのかをお示しいただけると、子どもたちも安心ですし、両方見ていただけたらと思います。
学務課長	資料２－５は今回の対象地域の全体をお示しているのですが、議論の方向性としては、特例地域を含めた全体を見た地図で議論を進める形で整理させていただければと思います。
委員	緑マークにするなど、色を変えていただいて、杉三小の通学安全指導員はここにいますというのをお示しいただけると、わかりやすいと思います。よろしく願いいたします。
委員	<p>杉八小の子たちは大きく北側に移動することになりますので、今までの通学路と大分変わった道を歩いていく形になると思います。現在この地域にこれぐらいの児童がいるので、きつとこういう道を通って行くだろうという形で、想定をして、通学安全指導員の配置をここにお願いしますと提案することになると思います。しかし、実際にその子たちが新校に行くかどうかかわからないので、きつとこの子たちは行くだろうという前提でお話することになります。実際は、杉十小や杉三小や杉六小に行ってしまったとかになって、通学安全指導員の方を置いてくださいとお願いしたところを誰も通らない状況も、もしかしたら生まれるかもしれません。</p> <p>なかなか難しいとは思いますが学校なり区なりで、現在の杉八小の子たちがどれぐらいの人数、新校に進級するかを調べていただきたいです。また新校が開校して、1学期間とか状況を見て、この場所はこうした方がいいのではないかな等の意見が出た場合、柔軟な対応をしていただけたらいいと思います。そういったことは検証部会でもっと詳しくお話しになると思いますが。</p>
学務課長	<p>学校の適正な規模を図るために就学実態の把握をするということは、一つの必要な取組です。ただ、その就学実態に合わせた形で、エリア全体で通学路を含めた安全性の確保を考えたときには、32年の開校のときに決めたからこのままですということではなく、32年、33年、34年と柔軟に対応できるように引き続き検討していきたいと思っています。</p> <p>そうしないと就学実態を把握して、ただ学校の規模の適正化だけで通学区域を判断をしてしまうことになります。仮に多くのお子さんが違う通学区域の学校に行っている実態があれば、そういったところへの対応を何かしら区としては考える必要があると思います。</p>
委員	通学路ですが、2－2の資料で⑮がありますが、ここは廃止ですね。
学務課長	当時の検討結果では、⑮は廃止です。
委員	⑬を通過してほしいという意味ですね。ここは僕が考えるには、⑮の道は結構お墓などがあるのですけれども、⑬に行くよりは、児童は⑮を使うと思います。その辺に通学安全指導員などを置いて、通学のときだけでも使わせたいと思っ

	ているのですが。
学務課長	今日は意見をいただく場ですから、そういうご意見があったことはきちんと記録に残りますし、実際に検証の中で皆さんで見て、それから懇談会で確認していただきたいと思います。
教育施設計画係 推進担当係長	今回お配りしているものは、28年に検討した資料ですので、検証部会の中で改めて確認していくということで、今日のところはご了解いただければと思います。
委員	中学校は通学路はないですね。中学生は⑩を通っても構わないが、小学生は通ってはいけないというのは、指導が難しいと思いました。
学務課長	今までは場所も違う別々の学校でありましたが、開校後は同じところに向かっていくということになりますので、何かしら学校の中で共有できる部分はあると思います。小中一貫教育の場ですから、児童・生徒が共通認識を持って通学することができるのではないかと思います。
会長	<p>それでは、いただいたご意見をもとにこの後、検証となりますが、スケジュールについては既に示されているとおりとなります。</p> <p>委員の候補としまして、杉四小の通学安全指導員のリーダーを入れてはどうかということと、専門家の方を入れてはどうかというご意見がありましたので、提案されているものをベースに進めていくということによろしいでしょうか。</p> <p>(意見なし)</p> <p>それでは、先ほどの意見をいただきながら検証委員を決めていただいて、また進めていただく形をお願いいたします。ありがとうございました。</p> <p>それでは、次第3に参りたいと思います。「標準服について」でございます。</p> <p>3月20日に第7回標準服検討部会を開催しました。各委員からは、その前の第6回標準服検討部会においてご意見を頂戴して、その意見をもとにトンボさんからのご提案をいただきました。</p> <p>そのご提案をもとに、再度検討部会委員からさらにご意見をいただいて進めていこうというところですが、今日はトンボさんがお見えになっているので、ご説明していただけると助かります。よろしくをお願いいたします。</p>
トンボ	<p>先日標準服検討部会に出席させていただきました。標準服のデザインを2タイプ決めさせていただきました。</p> <p>デザインが決まった流れをご説明しますと、2月の標準服検討部会の際に、グレーベースとネイビーベースのジャケットを提案させていただきました。その後、話し合いでジャケットはチャコールグレーベースのものでいこうと決まりました。</p> <p>また、その標準服検討部会でそのジャケットに合わせるボトム、スラックスやスカートは、男女同柄のものがいいのではないかと思いますという意見がありましたので、3月の標準服検討部会では、それに合うネクタイ、リボンをお持ちして全体のバランスを見ていただいて、デザインを検討したという流れになっていま</p>

	<p>す。</p> <p>実際に決まった2つのデザインの1つ目が、こちらの「えんじ」のネクタイとりボン、グレーがベースのチェックのストラックスと同柄のスカートをセットにしたタイプです。</p> <p>もう1つが、オレンジ色のネクタイとりボン、ストラックスとスカートにオレンジのラインが走った柄のものをセットにして2つ目のタイプといたしました。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の進め方ですが、この2つのタイプにつきまして児童・生徒に意見を聞きながら、また、運動会などもありますのでそういうところも使いながら、皆様方のご意見をもとにどちらかに決めていくという段取りで進めていければと、標準服検討部会では考えております。</p> <p>では、標準服につきまして何かご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。</p> <p>(意見なし)</p> <p>特によろしいですか。何かございましたら、私でも結構ですし、標準服の委員に言っていただければわかると思いますので、ご意見がありましたら頂戴できればと思います。</p> <p>ではトンボさん、どうもありがとうございました。</p> <p>(トンボ 退室)</p> <p>では、次第の4「その他」でございます。事務局からございますか。</p>
教育施設計画係 推進担当係長	<p>今回が今年度最後ということですが、来年度はまだはっきりとしたスケジュールはわかりませんが、大まかに前年度同様おおむね4回程度懇談会を開こうと考えております。</p> <p>中身としては、28年度にお話をいただきました教育方針を、開校の前年度ということで、皆さんの意見を踏まえて中身を固めていきたいというのがございます。</p> <p>そのほか大きく3つありまして、もう1つは通学区域と通学路の関係。本日も議題にありましたが、通学路を考えていくということ。それと、これも今お話しがありました標準服です。</p> <p>あと、懇談会のまとめとして報告書を作成いたします。最初に4回と申し上げましたけれども、大まかなスケジュールとしては来年度1回目は5月に開きまして、その後新しい校舎ができ上がった9月と年末の12月頃、そして、2月か3月か前後することはあるかもしれませんが、3月頃という形で4回ほど、皆様に引き続きご協力いただくということを考えておりますので、来年度につきましてもよろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。次年度もまだ教育方針、通学路、標準服、それからまとめ作成等の案件がございますので、続けていければと思います。</p> <p>以上で次第は終了となります。他に何かございますか。</p>

<p>学校整備担当部長</p>	<p>学校整備担当部長の中村でございます。</p> <p>冒頭の高橋先生のスライドの最後に、子どもたちにとっていい学校をつくるのだという、いいスライドがありましたよね。そのとおりなのです。</p> <p>いい学校というのはもちろん建物としてのいい学校だけではなく、通学路、制度も含めていい学校でなければ、高円寺学園はできていないなという思いが今日改めてしました。</p> <p>通学路については、28年度に検討した中身を検証するのですが、さまざま新しいデータに更新しなければなりません。いま1度見直すということは、先ほどの通学路の⑩もそうですが、しっかり皆様の目を見ていただいて確認して、これが子どもたちにとって最新の一番いい通学路なのだということを決めていきたいと思っています。役所がやれることは全部やります。シルバー人材センターの人数を少し増やしてということも。</p> <p>また、特に杉八小の子どもがそうかもしれませんが、学校が遠くなってしまう子どもたちもいますが、ぜひ新しい学校に来てもらいたい。これは区の思いだと受けとめていただいて構いません。</p> <p>できないことはありますが、やれることは全部やります。それはこの場で、私の立場で皆様にお誓いしますので、ぜひ今後も皆さまのお力を借りたいと思います。7月に竣工して、まず中学校から入りますが、来年度は小学校ということで、いよいよ本番を迎えますので、ぜひ来年度もひとつよろしく願います。ありがとうございました。</p>
<p>会長</p>	<p>部長、ありがとうございました。それでは、以上で今年度最後の懇談会を終了します。ありがとうございました。</p>